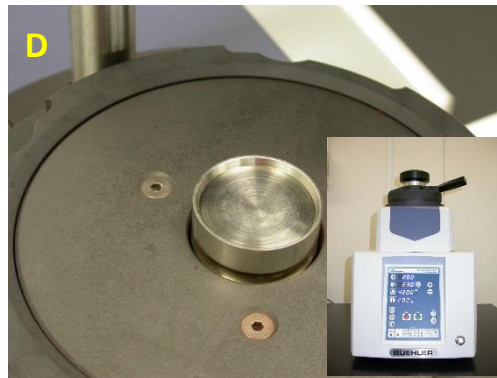
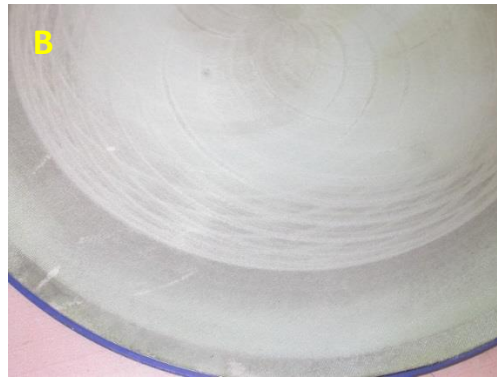




試料作製 “ワンポイントアドバイス” 埋込試料の面取り

成型後の埋込試料研磨面の周囲には鋭い角があります。この部分を削りとることを「面取り」といいます。(図 A:面取りした試料)

- 作業者の安全のため、コスト低減のためにも面取りを行うことをお勧めします。
- 面取りをしていない試料でバフをキズつけるとバフの寿命が短くなる可能性があります。(図 B:面取りをしていない試料の角でキズのついたバフ)
- 面取りは耐水研磨紙 Grit180 または Grit240 程度を使用して手作業で行います。
- 自動埋込機での埋込みでは面取りラムを使用しましょう。(図 C:面取りラムを使った試料) (図 D:シンプルメット 4000 & 面取り型下ラム)



動画でわかりやすく説明しています。ビューラーホームページをご覧ください。

<http://www.buehler.com/Japan/buehler-news-room.php>

*面取り作業は会社の安全規定に従って行ってください。

ビューラーアプリケーションラボでは試料作製に関するご相談を受け付けております。

info.japan@buehler.com ホームページで送信ください。